



# Added Value Wall System



施工が動画でご覧になれます。

## マグネットペイント+スケッチペイント塗装施工要領

### ◆モルタル・コンクリート・各種ボード

工程		塗料	希釈材	標準塗布量 L/m <sup>2</sup>	塗回数	塗装間隔	塗装方法	希釈率 (%)
		処置						
1	下地調整	ゴミ、油脂などの付着物をスケーラー、ワイヤー、ブラシやサンドペーパーなどで除去、平滑にした後、ウエスで清拭する。穴埋めが必要な場合には、パテ、フィラーなどを用いて行う。※1						
2	下塗り	水性シーラー			1			
		市販されている水性シーラーをご使用下さい。(仕様は各メーカーに準じる)						
3	マグネットペイント塗り	マグネットペイント	無希釈	0.8L	2~4	1時間以上	ハケ/ローラー/コテ	既調合
		ローラーで塗料を配った後、コテ又はパテベラで平滑に整える工程を繰り返す。塗装回数にかかわらず算出した塗料全量を塗布して下さい。※2 塗装直後は、艶のある黒色状態です。濡れ艶が消えれば塗り重ねが可能です。						
気象及び室内条件にもよりますが、4時間以上間隔を開けて水分を抜いて下さい。								
4	吸着力測定	ばね式秤						
		300g以上数値が出ていることを確認※3						
5	パテ塗り	仕上げパテ						
		乾燥後、サンドペーパー#180で研磨後、更に面を整える為#320にて研磨、除塵※4						
6	下塗り2	水性シーラー			1			
		ミストコート: 清掃し養生を貼り換えてからこの作業に移して下さい。※5						
7	水性ペイント塗り	ご指定色水性塗料	清水		2~4		ハケ/ローラー	
		市販されている汎用水性ペイントをご使用下さい。(仕様は各メーカーに準じる)塗りムラが出ないように注意して塗装して下さい。塗りムラがある場合は再塗装して下さい。※6						
気象及び室内条件にもよりますが、4時間以上間隔を開けて水分を抜いて下さい。								
8	スケッチペイント塗り(1回目)※7	スケッチペイント	清水	0.08L	1		ハケ/ローラー	10%以内
		60~90cmの幅で上から下まで面を仕上げながら横移動して下さい。ミックス比率 3 主剤 : 1						
気象及び室内条件にもよりますが、3時間以上間隔を開け6時間以内に塗装して下さい。※8								
9	スケッチペイント塗り(2回目)	スケッチペイント	清水	0.08L	1		ハケ/ローラー	10%以内
		1回目塗装で不具合があった場合、2回目の塗装でカバー出来ます。※9						
1時間以内に養生を外して下さい。72時間以上乾燥後(気象及び室内条件による)、ご使用下さい。								

※ 標準所要量は、個々の条件により異なり増減します。

※ 上記各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じる事が有ります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守って下さい。(チジミ、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※ 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量、膜厚になるように使用量、塗り回数を調整して下さい。

※ 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※ カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されています。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社までご相談いただきますようお願い致します。

### ◆ 施工上の要点と注意事項

#### マグネットペイント

※1 板間ジョイント部分は、必ずジョイントテープ施工の上パテ付して下さい。

※2 大面積の場合、10%のロスを考慮して使用数量を決定して下さい。

※3 吸着力測定数値が不足の場合、マグネットペイント一層塗装した後、再計測して下さい。

弊社オリジナルばね式秤をお持ちでない場合は、ご使用になるマグネットで想定される掲示物の1.5倍を貼り付ける事が出来る事を確認して下さい。

※4 粗研ぎしたペーパー番手の倍以内の番手のペーパーで粗研ぎのペーパー目を消して下さい。研ぎすぎにご注意下さい。

※5 (躯体)発泡を抑える効果が有ります。

#### スケッチペイント

※6 機能性水性ペイントは、スケッチペイントを塗装した際、ハジキの原因になる恐れがありますのでご使用にならないで下さい。

水性ペイントは、3分艶から5分艶有り塗料のご使用を推奨致します。

※7 施工面積が、6㎡程度なら(1L缶×1缶使用相当)1回塗り仕上げでも可能です。塗りムラを確認修正しながら塗装を進めて下さい。

塗布量の0.16L/㎡は、お守りください。塗布量が少ないと機能低下の原因となります。

※8 インターバルを置かず2回目を塗装すると1回目の塗装塗膜をめくってしまう恐れが有ります。

但し、6時間以内に2回目の塗装を行って下さい。それ以上間隔が開く場合は、1回目の塗膜を研磨してから2回目の塗装を行って下さい。

研磨しないで2回目の塗装を行うとハジキのトラブルが発生する恐れが有ります。

※9 1回目、2回目塗装の際、必要な量だけ塗料を混合して下さい。マイクロファイバーレギュラーローラーの短毛をお奨めします。

## スケッチペイント透明 商品スペック:

光沢:ハイグロス  
色調:透明  
比重:透明1.05g/cm<sup>3</sup>(混合液)  
塗装膜厚:50 μ  
塗布量:±6m<sup>2</sup>

ミックス比率: 3主剤:1硬化剤  
粘度:既調合 必要に応じて最大10%水希釈可  
揮発性有機化合物含有量:0g/l EU規制値内140g/l  
施工温度範囲:温度10℃以上、湿度80%以下  
容量:0.5L 1.0L

保管期間: 冷暗倉庫内にてミックスしないで5-35℃/40-75Fで保管した場合、18ヶ月以内

## 安全衛生上の注意事項

本来の用途以外に使用しないで下さい。

使用前に取扱い説明書を理解して取り扱って下さい。

粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないで下さい。

この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないで下さい。

取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行って下さい。

適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用して下さい。

必要に応じて個人用保護具を使用して下さい。

飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。口をすすいで下さい。

目に入った場合、水で数分間注意深く洗って下さい。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して下さい。その後も洗浄を続けて下さい。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けて下さい。

取り扱った後、手を洗って下さい。

粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けて下さい。

暴露した時、区別が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡して下さい。

緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。

容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理して下さい。

施錠して子供の手の届かないところに保管して下さい。

直射日光や水漏れは厳禁です。

塗料等の缶の積み重ねは3段までとして下さい。

日光から遮断し換気の良い場所で保管して下さい。輸送中も50度以上の温度に暴露しないで下さい。

内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄して下さい。

容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがありますので排水処理場などの施設に持ち込むか産業廃棄物処理業者に処理を依頼して下さい。

塗装中、乾燥中ともに換気を良くして下さい。

## ◆スケッチペイントメンテナンスについて

### アフターメンテナンス要領

スケッチペイントを末永くご使用いただけますよう、ご使用における注意事項ならびにメンテナンス方法について説明させていただきます。

注意事項:スケッチペイントは、壁面に簡単にマーカーで書き消しが出来る機能壁面を造ることが出来ます。

商品特性上ローラー塗装で仕上げますので市販のホワイトボードに比べ表面に凹凸が出来ます。従いまして通常のホワイトボード用イレーサーでは凹部分が消しづらくなります。メガネ拭きや食器拭きに使用するマイクロファイバークロス(以下イレーサークロスと呼称します)等凹凸面にフィットするイレーサーをご使用頂きますと消去性が高まります。

### メンテナンス方法:

通常のお手入れは、きれいなイレーサークロスで水拭きと乾拭きで十分です。

スケッチペイントは、使用環境によっては、表面が著しく汚染したり消去性が悪くなる場合が有ります。以下の原因とメンテナンスをご参考にして下さい。

### 消去性低下の原因:

1:古くなったマーカー(描書した文字がかすれたり、色が薄くなった状態)は、インク成分のバランスが悪くなるため通常使用時に於いても消えが悪くなる場合があります。

2:長時間の書置きおよび日光や冷暖房の排風が当たる場合は消えが悪くなる場合があります。

4:表面を酸、アルカリ等の薬品や中性洗剤で清掃しますとマーカーの消えが極端に悪くなります。

### メンテナンス:

1:描書した文字がかすれたり、色が薄くなったマーカーは新しいマーカーにお取替え下さい。

2:繊維が擦り切れ、破れたイレーサークロスは新しいものと交換してください。また、著しく汚れたイレーサークロスは一度水洗いをして十分に乾燥したきれいなものをご使用下さい。

3:酸、アルカリ等の薬品や中性洗剤による清掃はおやめ下さい。

### 汚染時のアフターケア方法:

1:表面をきれいなイレーサークロスで水拭きした後、乾いたイレーサークロスで乾拭きし水シミが無くなるようにふき取って下さい。

2:上記メンテナンスで汚れが取れない場合は、市販のアルカリ電解水等でクリーニングしてください。市販のエタノール(99.9%)もより有効です。ただし、常時エタノールで清掃することはお控えください。長期間ご使用になると塗膜にフレが発生する危険があります。尚、汚れたイレーサークロスや中性洗剤等のご使用は、逆に汚染しやすくなりますので、ご使用はお控え下さい。

3:イレーサークロスが著しく汚れた場合は、水洗い後十分に乾燥させ、きれいなものをご使用下さい。

### マグネット吸着力:

スケッチペイント塗装面は滑りが良いためマグネットペイントの上塗りとしてご使用された場合、一般的な水性ペイントを上塗りした場合と比べて掲示物保持力が多少弱くなります。